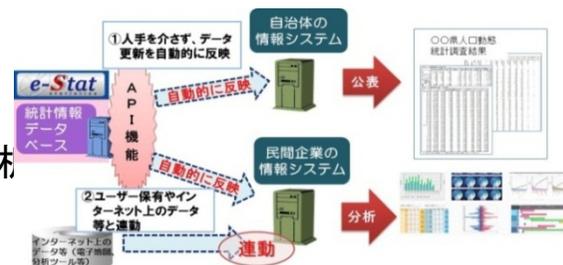


## 1. API機能による統計データの高度利用環境の構築

- 政府統計のポータルサイト『e-Stat』に、新たにAPI機能を付加し、蓄積された統計データを機械判読可能な形式で提供することで、次のようなことが可能に。
  - ① 利用者の情報システムにe-Statのデータを自動的に反映
  - ② ユーザー保有やインターネット上のデータ等と連動させた高度な統計データ分析
- **平成25年6月10日から試行提供** (<http://statdb.nstac.go.jp/>) を開始  
(統計局所管の統計データによる試行提供によって機能やシステム負荷の検証を実施。)



## 2. 統計GIS機能の強化

- e-Statの統計GIS機能を強化し、ユーザー保有データの取り込み分析や任意に指定したエリアにおけるデータが利用可能になるような機能を開発中。
- **平成25年10月18日から試行提供** (<http://statdb.nstac.go.jp/>) を開始。  
(統計局所管の統計データによる試行提供によって機能やシステム負荷の検証を実施)



## 3. オンデマンドによる統計作成機能・方策の研究

- 公的機関や学術研究などの利用において、利用者が調査項目を選択するだけで統計結果を自動的に出力する、新しい形の統計提供サービスを研究中。
- これにより、既存の結果表にない任意の多重クロス集計が出力可能になり、学術研究を始めとする多様なニーズに対応。

